

12/2～8 相模女子大学×スーパー三和相模大野店 地域密着の食育プロジェクトを期間限定開催
相模女子大学・スーパー三和・三井住友銀行の産学金連携事業、デザインを活用し相模大野の子育てを食で応援

相模女子大学・相模女子大学短期大学部（所在地：神奈川県相模原市南区、学長：田畑雅英、以下「相模女子大学」）は、スーパー三和相模大野店（所在地：神奈川県相模原市南区）と連携し、デザインを活用した子育て層向けの来店促進施策と、食育・食品ロスについて学ぶ取り組みを実施しますので、お知らせいたします。このプロジェクトは、12月2日（月）から12月8日（日）の期間限定で実施します。



相模大野駅南口に立地する
スーパー三和相模大野店



エコバッグデザインは4案提示し
期間中来店客から投票を受け付けます
(最終的なデザイン案は変更になる可能性があります)



食材知識を子ども向けに解説したPOP。生鮮食品売り場に掲示（左上）
食材ロスを子ども向けに解説した4コマ漫画POP（右）
食材知識を解説したじゃんけんカード。期間中子ども向けに配布します（左下）

株式会社三和（所在地：東京都町田市金森4-1-2、代表取締役：小山 真、以下「スーパー三和」）は、東京都西南部と神奈川県全域を中心にスーパーマーケットを展開しています。2008年に小田急相模大野駅南口に開店した相模大野店は、地域に密着した食品スーパーマーケットとして、地域住民の食と健康を支えています。

同店では、相模大野に住む子育て世帯を「食」で応援するため、親子が楽しみながら「食育」や「食品ロス」について学べる取り組みを模索してきました。こうした背景のもと、スーパー三和と三井住友銀行が連携し、相模女子大学との産学金連携事業として、生活デザイン学科の専門科目で、1～3年がグループワークで取り組むプロジェクト型授業「デザインワーク」（担当：生活デザイン学科 教授・牛尾 卓巳）の授業内で施策検討が行われることになりました。4月からプロジェクトがスタートし、2024年秋学期は26名の学生が受講しています。

学生たちは現地調査を通じて、消費者目線でニーズや市場動向を分析しました。その結果、「ファミリー層に向けた視覚的メッセージの不足」「子育て層が来店したくなる仕掛けの必要性」といった課題が浮かび上がりました。学生だけでなく、スーパー三和の社員も毎月授業に参加してディスカッションを重ねながら、消費者にとって魅力的で利便性の高い空間づくりの施策案を検討しました。

本期間中は「①学生がデザインしたエコバッグを店頭に掲示し、来店客による投票の実施」「②子ども向けの食育・食品ロス啓発POPの掲示とカードゲームの配布」「③女性に向けた新たなお弁当メニューの販売」を実施します。

本プロジェクトは、地域企業、大学、金融機関が連携する取り組みです。ぜひ取材いただき、報道を通じて多くの皆さまに知っていただければ幸いです。

【相模女子大学×スーパー三和相模大野店 産学金連携事業の概要】

実施日時：2024年12月2日（月）～12月8日（日） 各日とも9:00～22:00

場所：スーパー三和相模大野店（神奈川県相模原市南区相模大野7丁目9-15）

実施内容：①学生が提案したエコバッグデザインの掲示と投票

②子ども向けの食育・食品ロス啓発POPの掲示とカードゲームの配布

③女性に向けた新たなお弁当メニューの販売

【本件に関するお問い合わせ先】

相模女子大学 広報事務局 米澤智子（ワンパーパス株式会社内）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号

TEL: 080-5083-6834 / e-mail: t-yonezawa@onepurpose-pr.com

学園キャラクター
さがっば・ジョー

